

日本小児科学会予防接種感染対策委員会 声明
予防接種後の失神に対する注意点について

日本では、10歳以上で勧奨されているワクチンとして、沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド（DT）ワクチン、日本脳炎ワクチンが接種されてきたが、近年、乾燥弱毒生麻しん風しん混合（MR）ワクチン、インフルエンザワクチンなど、この年齢層における接種機会が増えてきた。海外では有害事象としてこの年齢層での接種機会の増加に伴って、失神の報告が増えているので¹⁾²⁾³⁾、日本でもこの年齢層に接種する場合には、失神に注意しながら接種する必要がある。

予防接種後の失神は血管迷走神経反射⁴⁾によってもたらされるものであるが、時にアナフィラキシー⁵⁾との鑑別は難しい。例えば、2009/2010 シーズンに接種された新型インフルエンザワクチンの副反応として厚生労働省にアナフィラキシーとして報告された118例を検討すると、専門家の評価によりアナフィラキシーと診断されたものは54例と半減し、そこには多くの失神症例の紛れこみがあることが明らかになった⁵⁾。

米国疾病対策センター（CDC）は2005-2007年に報告されたワクチン後の失神463例中、11-18歳が62%、女兒（女性）が78%を占めたことから、この年齢層に接種されるアジュバント（免疫増強剤）添加の筋注ワクチンである4価ヒトパピローマウイルスワクチン（ガーダシル）、4価髄膜炎菌ワクチン、成人用百日せきジフテリア破傷風混合無菌（Tdap）ワクチン接種時の失神について注意勧告を示した¹⁾。ガーダシルでは10万回接種で8.2回の頻度で失神が報告されている²⁾。わが国においても、これらの年齢層に接種する2価ヒトパピローマウイルスワクチン（サーバリックス）、2期のDTワクチン、2期の日本脳炎ワクチン、3、4期のMRワクチン、インフルエンザワクチン等の接種にあたっては、予防接種後の失神に注意しながら接種を進める必要がある。

また、失神の好発時間は、接種後15分以内であるが、それ以降の発生もみられ、転倒による頭蓋骨骨折、脳出血、交通事故などを来した症例もある。その結果、海外では、失神症例の約14%は入院にいたっている¹⁾。

このため、特に10歳以上に対する予防接種後の血管迷走神経反射による失神について、以下のことに留意され、対応策を講じていただきたい。

- 注意すべき対象：** 海外の報告では、ヒトパピローマウイルスワクチンの接種対象の関係上、女性の報告が多い¹⁾²⁾が、男性も少なくはない³⁾、10歳以上、注射への恐怖心が強い人、起立性調節障害（体位性頻脈症候群も含む）を有する人。
- 主な症状：** 顔面蒼白、全身の冷感、血圧低下と徐脈、失禁、失神または意識消失。
- 鑑別：** アナフィラキシー（循環器症状のみではアナフィラキシーとならない⁴⁾⁵⁾。
- 好発時間：** 長時間立位を持続した時。特に暑い時期。
海外の報告では、接種後5分以内が52.2%、15分以内が69.6%とされる。
- 機序：** 痛み、恐怖、興奮などに引き続く血管迷走神経反射。
- 処置：** 下肢を軽く挙上し安静臥床させる。必要に応じて輸液や酸素投与を行う。
- 予防：** 米国ACIP（予防接種諮問委員会）は、接種後15分は椅子に腰掛けるか、体を横たえる。また、接種に際し、出来る限り不安の除去や疼痛対策を行うよう勧告している。失神をおこす恐れがある場合には、あらかじめベッドに臥床の上で接種する方法がある。接種後30分は座って体調の変化を観察してから、帰宅することが望ましいと考える。

文献

- 1) CDC. Syncope after vaccination—United States, January 2005–July 2007. *MMWR Morb Mortal Rep* 2008;57:457-460.
または、IASR (Vol. 29 p. 167-167: 2008年6月号 <http://idsc.nih.gov/iasr/29/340/ft3402.html>)
- 2) Slade BA et al. Postlicensure safety surveillance for quadrivalent human papillomavirus recombinant vaccine. *JAMA* 2009;302:750-757.
- 3) Yancey AM et al. The prophylactic role for the human papillomavirus quadrivalent vaccine in males. *Ann Pharmacother* 2010;44:1314-1318.
- 4) Rüggeberg JU et al. Anaphylaxis; Case definition and guidelines for data collection, analysis, and presentation of immunization safety data. *Vaccine* 2007;25:5675-5684.
- 5) 岡田賢司. 新型インフルエンザワクチンとアナフィラキシー-アナフィラキシーの新しい分類. *小児科臨床* 2010;63:1223-1229.